

【1 分解説】ワークリゾートとは？

総合調査部 副主任研究員 高宮 咲妃

ワークリゾートとは、リゾートの要素を取り入れ、出社したくなる体験を提供するオフィス環境のことです。ワーケーションのように「リゾート地で働く」発想ではなく、オフィスそのものをリゾートのような空間にする点が特徴です。具体的には、眺望の良いラウンジ、カフェ・バー、緑やテラス空間、シャワー、フィットネス等のウェルネス施設を備え、「働く・くつろぐ・交流する」が一体となった場を指します。

背景には、リモートワークの定着により「自宅でもできる仕事」をあえてオフィスで行う意味が問われていることがあります。足元では、海外の複合開発（米メンロパークの Springline やシカゴのマーチャндаイズ・マートなど）に加え、国内でも大規模再開発や本社移転を契機に、カフェ併設、ウェルビーイング志向の執務環境、社内コミュニティスペースを整備する動きが広がっています。

一方で、見た目や設備だけを整えても、使用ルールや運用が伴わなければ空間が形骸化する懸念があります。ワークリゾートを有効に機能させるには、出社と在宅勤務を組み合わせるハイブリッドワーク制度、働き方の裁量度、コミュニケーション設計等とセットで考え、「どのような行動変化を促したいのか」という目的から逆算した空間デザインとすることが重要です。

関連レポート

・「【1 分解説】ワーケーションとは？」(2023 年 11 月)

<https://www.dlri.co.jp/report/ld/230368.html>